



ベルが CES 2020 で未来都市を公開

インフラ、都市計画、マルチモーダル輸送の議論を大きく前進させる未来像を展示

【CES 2020／ラスベガス（2020年1月6日）】 米国テキストロン社（NYSE：TXT）傘下のベルテキストロン社は、スマートシティのエコシステムが進むべき未来を鮮やかに描き出します。注目の展示がおこなわれるのは、米国ネバダ州ラスベガスで開催される恒例のコンシューマー・エレクトロニクス・ショー（CES）。画期的なテクノロジーとして期待される空飛ぶタクシー「ベルネクサス」や、自律運航型ポッド輸送機（APT）を駆使することによって、都市間で人、物、そして情報を効率的に輸送する未来予想図をお見せします。

今回の展示に関し、ベルの会長兼CEOを務めるミッチ・スナイダーは次のようにコメントしています。

「2019年のCESでは、乗客体験にフォーカスしながら都市間輸送に革命的な進歩をもたらすテクノロジーや輸送機をお見せしました。今年の展示ではスマートシティの仕組みと運用に重点を置き、未来の都市で暮らす人々の仕事と生活がどのように変わるのかを表現します」

世界では、2050年までに全人口の約70%もの人々が都市部で暮らすようになると予想されています。既存の輸送システムでは処理できないほど急速に都市が発達しているため、都市内での移動ソリューションに対する期待はかつてないほど高まっています。幸いなことに輸送業界はある種の変曲点に達し、世界トップクラスの頭脳が集まって理想的なスマートシティの設計を生み出すために知恵を絞っています。この研究活動を最前線で牽引するベルは、未来の輸送ネットワーク構築に向けた都市インフラの問題解決を企業としての使命に位置付けています。

このような未来の輸送ソリューションやスマートシティにまつわるたくさんのアイデアが、ベルが考える「ネクサスシティ」の要素としてCESの会場で展示されます。

次世代移動 MaaS と Bell AerOS

ベルが紹介するのは、単なる航空機の次元を超えた次世代移動 MaaS (Mobility as a Service) の計画です。MaaS を地域の都市インフラに統合し、必要なときに誰でも利用できるオンデマンドの空中輸送の実用化を具体的に提案します。

ベルの高度なサービスを可能にするのは、独自に開発した「Bell AerOS」というシステムです。このシステムは全機体の情報を管理し、航空機の故障状況を監視し、輸送する物の量を把握し、さまざまなデータやメンテナンスの時期を予測するために開発されました。デジタルな都市インフラはスマートシティの展望を要所で支え、便利な次世代輸送を多くの人々に利用してもらうための重要なテクノロジーです。このシステムについて、ミッチ・スナイダーは次のようにコメントしています。

「ベルはマルチモーダルな輸送ソリューションを継続的に提供するため、これまでの航空機開発の枠組みに留まらない多様な協働関係をリードしています。相互に接続されたデジタルネットワークの利用体験を生み出し、消費者のみなさまをワクワクさせて信頼を勝ち取りながら、生活環境を向上させるための研究を続けてまいります」

新型機「ベルネクサス 4EX」も展示

今回の CES では、進化を遂げたベルネクサスの新型機「ベルネクサス 4EX」（4 はダクテッドファンの数、E は電気、X は試験の意）も展示されます。これはベルが独自に開発したパワー・リフト・コンセプトの航空機で、4 基の向きを変える事が出来るダクテッドファンをハイブリッドまたは電気のみで駆動する仕様になっています。最新機のデザインは、電気にまつわるテクノロジー全般を大きく進化させるきっかけになるでしょう。機体の推進方向も顧客ニーズに応じて変えられる設計です。ミッチ・スナイダーは、「ベルネクサス 4EX」の展示について次のようにコメントしています。

「ベルネクサスが示すビジョンの方向性は、昨年と変わりません。今回は市場をより明確化した機体として、システムレベルのアプローチを成熟させました。まったく新しい飛行性能に道を開き、型式証明にも対応して、商業化も可能な機体形状であると確信しています」

コネクテッド・モビリティに関するベルのビジョンは、[こちらの](#)ウェブサイトでご覧いただけます（英語）。さらに詳細な情報や最新のニュースを知りたい方は、[ベルCESチーム](#)にメールでお問い合わせください。未来のスマートシティをリアルにご体験いただくチャンスです。CES のモビリティ・ホール（ブース番号 7914）で、みなさまのお越しをお待ちしております。

###

報道関係者お問い合わせ

ベル

フェリシア・ヴォッタ (Felicia Votta)

+1 817-280-3936

mediarelations@bellflight.com

[Bell Newsroom](#)

SNSでのフォローもお待ちしております。

[Facebook](#)

[Twitter](#)

[LinkedIn](#)

[Instagram](#)

[YouTube](#)

ベルについて

従来の常識を越えた、新しい次元への志向。80年以上にわたって、私たちは常に未来の飛行体験を模索し続けてきました。

ヘリコプター製造のパイオニアとして、ベルは世界をリードしています。困難な障壁を打ち破り、初めて民間機の型式証明を獲得したのもベルでした。NASAの月探査には第1回から参画し、最先端のティルトローターシステムを市場導入。現在は、人類がオンデマンドで移動する未来の世界を定義しようとしています。

米国テキストロン社の完全子会社であるベルは、テキサス州フォートワースの本社を中心に、世界各地の戦略的な拠点で活動を展開しています。全従業員のほぼ4分の1に米軍関連の業務経験があり、目標達成への努力を情熱的に支えています。

効率と信頼を大切に、いつでも安全を第一に考えること。画期的なイノベーションで、お客様に特別な体験を提供するのが、私たちベルの最大の使命です。

テキストロンについて

テキストロンは航空・防衛・工業・金融ビジネスの世界的ネットワークを活用して、顧客に革新的なソリューションとサービスを提供する多業種企業です。テキストロンはベル、セスナ、ビーチクラフト、ホーカー、ヤコブセン、カウテックス、ライカミング、E-Z-GO、アークティックキャット、テキストロン・システム、TRUシミュレーション+トレーニング等の強力なブランドによって世界に名を馳せています。詳しい情報については、www.textron.comをご覧ください。

Certain statements in this press release are forward-looking statements which may project revenues or describe strategies, goals, outlook or other non-historical matters; these statements speak only as of the date on which they are made, and we undertake no obligation to update or revise any forward-looking statements.

These statements are subject to known and unknown risks, uncertainties, and other factors that may cause our actual results to differ materially from those expressed or implied by such forward-looking statements, including, but not limited to, the efficacy of research and development investments to develop new products or unanticipated expenses or delays in connection with the launching of significant new products or programs; the timing of our new product launches or certifications of our new aircraft products; our ability to keep pace with our competitors in the introduction of new products and upgrades with features and technologies desired by our customers; and performance issues with key suppliers, subcontractors or business partners.